

富士見町の暮らしを生かした 「観光まちづくり」を考える

「富士見パノラマリゾート」と「富士見高原スキー場」の2つのスキー場を有する富士見町。ウィンターシーズンのみならず、東京から約2時間という地の利もあり、春夏秋冬どの季節も観光客に足を運んでいただいています。

富士見町の観光は、これからどこへ向かうのか。今回は南伊豆で“暮らし体験プログラム”を提供する『南伊豆くらし図鑑』の伊集院さんをお招きして、富士見町の暮らしを生かした、これからの「観光まちづくり」を考えます。

日時 2021年1月27日(木) 16:00 - 17:30

場所 ゲストハウスKARAI

参加無料、現地定員15名／オンライン定員100名

予約 fujimimachi.mirai.lab@gmail.com

オンライン参加URL：Facebookグループを参照

<https://www.facebook.com/groups/200059568547211>

GUEST



南伊豆新聞・南伊豆くらし図鑑 編集長
イラストレーター
伊集院 一徹

1988年生まれ鹿児島県出身。東京の出版社を退職後、2018年4月から静岡県南伊豆町の地域おこし協力隊として活動。南伊豆では「関係人口」促進の施策の一つとして「一対一」の暮らし体験サービス「南伊豆くらし図鑑」、南伊豆の地域密着型WEBマガジン「南伊豆新聞」を企画、運営。イラストレーター×地域の編集者として、南伊豆の魅力を発信。任期終了後、2021年4月にゲストハウス「ローカル×ローカル」を開業。また、自身の移住体験を綴った漫画「ローカル×ローカル」をWebメディアcakesにて連載中！

ゲストハウスKARAI

協力：富士見まちづくりラボ



※ 甲信地域休眠預金等活用コンソーシアム2020年度草の根活動支援事業
「甲信地域支援と地域資源連携事業～子ども若者らが自ら課題を解決する力を持てる地域づくり事業～」